

校内選考の仕組み

校内選考とは生徒が①指定校推薦、②付属特別選抜(豊山枠)を用いて進学を希望する際に実施されるもので、会議で推薦される人物(生徒)の選考を実施します。

①指定校推薦とは、主に各他大学から豊山高校に与えられる推薦枠を使った推薦のことです。同様に、②付属特別選抜(豊山枠)とは、日本大学の各学部から豊山高校に与えられる推薦枠を使った推薦のことです。これらの推薦枠数は年度ごとで変動することがあります。特に①指定校推薦において、今年度は推薦枠がない大学でも、来年度には推薦枠がある可能性もあります。また、その逆もあります。そして①と②のどちらも、希望する生徒は「推薦要件」を満たしていなければ、校内選考に参加することすらできません。推薦要件は下記のような例があります。

〇〇大学	A学科	評定平均値4.0以上
	B学科	評定平均値3.8以上、かつ英検2級以上
	C学科	英語の評定平均4.2以上

①と②どちらの推薦も例のような「推薦要件」を満たした場合のみ、校内選考に申請・参加することが可能となります。では、「推薦要件」を満たした生徒が推薦人数枠数より多い場合にはどうするのでしょうか。そのとき、生徒個々の「総合序列」から上位の者を選考していきます。「総合序列」とは、全付属対象の基礎学力到達度テストや豊山独自の錬成テストの順位を基にし、これに生活面等の学校生活における人物像を加味した順位の事です。つまり、「推薦要件」を満たして校内選考に参加し、たとえ成績優秀であっても、「遅刻が多い」等があれば、「総合序列」に影響を及ぼすということです。

では、実際に校内選考の例を見てみましょう。推薦枠数は各学科で1名という形でシュミレーションしましょう。

	第1志望	第2志望	第3志望
序列1位A君	α学科	β学科	—
序列2位B君	α学科	β学科	γ学科
序列3位C君	β学科	α学科	γ学科
序列4位D君	γ学科	δ学科	ε学科
序列5位E君	α学科	β学科	γ学科

上記の5名は全員「推薦要件」を満たしている生徒で考えています。この場合、各生徒は校内選考通過によって色のついた学科に出願することができることになります。注目するのが、各生徒の第1志望順に見ていくのではなく、序列の高い生徒の第1志望から第3志望を優先していくということです。これは、C君を見れば明らかですね。C君の第1志望はβ学科になっていますが、序列2位のB君が第2志望でβ学科を希望しています。序列が高いのはB君ですから、先にB君が校内選考によりβ学科の出願の権利を持つということになります。そのためC君は第1志望にβ学科を、第2志望はα学科を希望しましたが、第3志望のγ学科の出願資格を得ることになります。ちなみにE君は校内選考で不通過ということになります。

そして、もう1点注意してほしいことがあります。「推薦要件」にあった「評定平均値」についてです。この「評定平均値」とは、高校1年次から高校3年次までの各科目の評定の平均値となります。つまり、高校1年次からの評定が含まれるということです。高1は、テストの科目数も多く、良い評定を取るのが大変だと思いますが、1年次から良い評定を得ておくことをお勧めします。



R8 進路調査 結果発表

5月に実施した進路調査結果の概要をお伝えします。

①志望校

どの学年においても、日本大学理工学部が一番人気です。国公立大学・私立大学においては、「経済・商学系」「理・工学系」の人気の高いようです。



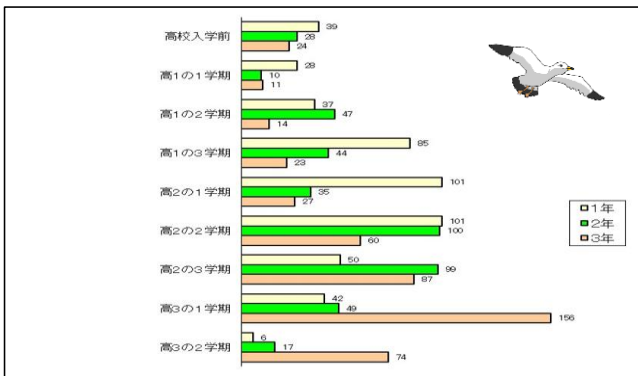
【日本大学】

1. 学部別集計

学 部 名	1 学 年			2 学 年			3 学 年		
	第1	第2	第3	第1	第2	第3	第1	第2	第3
法 学 部 (一 部)	39	34	44	24	28	21	47	32	26
法 学 部 (二 部)	1	1	0	0	0	1	0	0	0
文 理 学 部	53	53	38	49	61	57	38	51	47
経 済 学 部	44	52	49	52	42	45	62	68	47
商 学 部	12	22	23	12	27	38	19	39	44
芸 術 学 部	15	18	17	19	17	12	16	14	11
国 際 関 係 学 部	0	4	1	0	1	1	0	2	1
理 工 学 部	77	66	50	84	80	78	111	107	96
生 産 工 学 部	2	7	8	4	7	9	11	10	21
工 学 部	1	6	9	0	5	7	0	0	1
医 学 部	1	0	6	4	1	3	1	0	1
歯 学 部	3	1	5	3	1	2	2	1	0
松 戸 歯 学 部	0	3	1	1	2	3	0	0	0
生 物 資 源 科 学 部	8	6	10	17	23	22	13	12	12
薬 学 部	1	4	5	6	4	1	6	5	4
危 機 管 理 学 部	1	0	4	3	4	2	5	3	11
ス ポ ー ツ 科 学 部	12	8	11	7	7	8	7	6	5
短 期 大 学 部	0	1	1	0	0	0	0	0	0
通 信 教 育 部	0	1	0	0	0	0	0	0	0

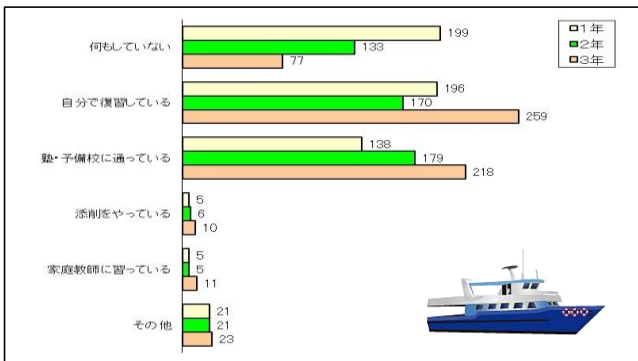
②進路決定時期

学年を追うに従って、進路決定の時期が後になっていくように見えますが、自身の成績と将来の展望とが具体的にになっていった結果だと思われます。



③受験準備

自分で復習している人の多さは、部活動との両立や基礎学力到達度テストの出題傾向を意識した結果でしょうか。スタディサプリも有効活用していきましょう。



大学入学共通テストとは

大学入学共通テストは、大学入試センターが毎年1月中旬に全国一斉で実施するマークシート方式の共通試験で、高校までの基礎学力を測り、その結果を国公立・私立大学の一般選抜などで合否判定に利用する制度です。例年1月中旬の土・日曜の2日間に全国で一斉に実施されています。

国公立大学の一般選抜受験者は、原則共通テストを受験しなければなりません。また、多くの私立大学でも共通テストの成績を利用する「共通テスト利用方式」を設定しています。大学進学を考える受験生にとって、この共通テスト対策は必須といっても過言ではありません。共通テストの解答方法は「マーク式」のみとなっています。

2027年度大学入学共通テスト 出題教科・配点・試験時間一覧

教科	科目	配点	試験時間	選択方法
国語	『国語』	200点	90分	
地理歴史	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	1科目 100点	1科目選択 60分	6科目から最大2科目を選択解答する（2科目同時に選択できない組み合わせあり）
公民	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』	2科目 200点	2科目選択 130分 (うち解答時間120分)	『地理総合／歴史総合／公共』は3分野から2つ選択解答 受験科目数は出願時に申請
数学	①『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ』 ②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100点 100点	70分 70分	2科目から1科目を選択解答する
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	1科目 100点 2科目 200点	1科目選択 60分 2科目選択 130分 (うち解答時間120分)	5科目から最大2科目を選択解答する 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は4分野から2つ選択解答 受験科目数は出願時に申請
外国語	『英語（リーディング、リスニング）』 『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	各100点 計200点 200点	英語 リーディング80分 リスニング80分 その他 80分	5科目から1科目を選択解答する
情報	『情報Ⅰ』	100点	60分	

(大学入試センター発表資料より作成)

出願方法は「Web出願」となります。手続きの電子化にともない、出願が個人単位になりました。現役生であっても、学校が仲介することはなく、受験生ごとに出願します。出願の流れを知らずにいると、締切に間に合わないこともあるかもしれません。高3の皆さんは注意して出願手続きを進めてください。

◎7月1日(水)10:00～

大学入学共通テスト出願サイトが公開され、マイページの作成が可能となります。高3は学年の先生からの指示で、マイページ作成を進める予定です。7月17日(金)に学年のロイノートで配信される受験案内をよく読み、手続きを進めてください。

◎9月15日(火) 10:00～

マイページで出願内容の登録ができます。「**出願登録**」と「**支払い**」は**両方完了しないと出願は成立しません**。顔写真もデータ提出となり、スマホやデジカメで撮影し、サイトにアップロードします。令和8年7月1日(水)以降に撮影したものが有効です。受験票の郵送はなく、各自マイページからA4サイズで印刷し、受験当日に持参することになります。

★★★ 出願に向けてのスケジュール ★★★

①6月中旬頃:受験案内などの公表

冊子の配布なし。大学入試センターHPからダウンロード。

②7月上旬頃:受験生自身でアカウント登録とマイページの作成

氏名・生年月日・メールアドレス等を登録し、仮登録メールを確認。

③9月下旬頃:マイページ上で出願・出願内容の登録

志願者情報・受験教科・成績閲覧希望の有無などを入力。

④9月下旬頃:検定料支払い

クレジット・コンビニ・Pay-easyから選択(一律手数料188円)。

⑤10月中旬頃:出願内容の確認・登録内容の変更

⑥12月中旬頃:受験票の取得・出願完了通知確認

マイページ・メールで「出願完了」を確認したら完了。



特進他大学説明会 報告

6月16日(火)5時間目から7時間目に特進他大学説明会を実施しました。今回はTKPガーデンシティPREMIUM池袋という校外の施設にて、豊山女子高校の特進クラスの生徒と一緒に参加させていただきました。参加していただいた大学は以下の通りです。

上智・明治・法政・成蹊・成城・北里・立命館アジア太平洋・
明治薬科・東京薬科・星薬科・東京農業・日本医療科学・
武蔵・防衛大・防衛医科大学・日本外国語専門など

大学の基本的な情報についてはもちろん、入試情報や学生の雰囲気、各大学独自のカリキュラムなどについてお話しいただきました。説明会に参加していただいた各大学の担当者から「豊山も豊山女子もよく話を聞いてくれた」とのお言葉もいただきました。最後のコマまで希望した生徒は16時までの説明会となりましたが、積極的に話を聞いており、有意義な時間になったと思います。



高1にとっては「大学とはどんなものか」を知る良いきっかけとなり、高2、3にとっては今まで選択肢になかった大学を知る良い機会となったのではないのでしょうか。これをきっかけに生徒の皆さんは今後も主体的に大学のことを知るうとしてみてください。



7月の進路行事

・7月16日(木) 日本大学学部説明会(高2)

※高3は夏季面談を実施します。(高1・2は任意)
※この夏休みはオープンキャンパスに足を運ぶ貴重な機会です。積極的に4～5つの大学に行くようにしましょう!

月
日
(
)
日直

7月16日(木)の日大大学部説明会は、対象が高2となっています。オンライン形式で行われ、生徒は自宅からZoomを利用して参加することになります。付属高校向けの説明会になりますので、他では聞くことのできない内容になります。Zoomは事前に氏名の表示や顔出しのルールを確認してください。学部によって内容は大きく異なりますので、しっかりとメモを取り、気になることは質問をするようにしましょう。

夏季面談は、高3は必須です。その際には現時点の進学希望先を3つ担任へ伝えてください。総合型選抜を考えている生徒は、8月末までは準備に追われることが予想されます。担任とスケジュールを話し合い、夏季休暇中を含めて指導を受けるようにしてください。高1・高2は任意となっていますが、しっかりと時間を確保できる面談の機会は多くはないです。有効活用しましょう。



近年高3受験時に、日大付属推薦と並行して日大の総合型選抜に挑戦する生徒が増えています。付属生にとっては第1志望とする日大の学部に2回挑戦できることになり、メリットと言えるでしょう。一方で、総合型選抜はこれまでの長期的な取り組みと入学後のビジョンが問われることから、受験準備に膨大な時間を取られます。また、日大の総合型選抜と日大付属推薦を併願する場合には、付属推薦の結果が優先され、総合型選抜の結果は辞退することになるので注意しましょう。総合型選抜を考えている生徒は、早めに担任に相談することをお勧めします。

次回8・9月号は、7月17日(金)発行予定です